

| | | | | |
|------------|---|----------------|---------|----------|
| 長野工業高等専門学校 | 開講年度 | 平成31年度(2019年度) | 授業科目 | 国語IV(環境) |
| 科目基礎情報 | | | | |
| 科目番号 | 0047 | 科目区分 | 一般 / 必修 | |
| 授業形態 | 授業 | 単位の種別と単位数 | 学修単位: 2 | |
| 開設学科 | 一般科 | 対象学年 | 4 | |
| 開設期 | 後期 | 週時間数 | 2 | |
| 教科書/教材 | 教科書:『書き込み式 日本語表現ノート』名古屋大学日本語表現研究会 三弥井書店 | | | |
| 担当教員 | 牧 千夏 | | | |

到達目標

・論理的で実用的な文章を書くことができ、発表資料を用いて口頭発表することができることによって、(A-1)の達成とする。

ループリック

| | 理想的な到達レベルの目安 | 標準的な到達レベルの目安 | 未到達レベルの目安 |
|-------|----------------------|--------------------------|-----------------------|
| 評価項目1 | 論理的で実用的な文章を書くことができる。 | おおむね論理的で実用的な文章を書くことができる。 | 論理的で実用的な文章を書くことができない。 |
| 評価項目2 | 効果的な発表資料を作成できる。 | おおむね効果的な発表資料を作成できる。 | 効果的な発表資料を作成できない。 |
| 評価項目3 | 的確な口頭発表をすることができる。 | おおむね的確な口頭発表をすることができる。 | 的確な口頭発表をすることができない。 |

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

| | |
|-----------|---|
| 概要 | 論理的で実用的な文章を書く講義および実習を行い、発表資料を用いて口頭発表する実習を行う。 |
| 授業の進め方・方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業は講義と実習を中心とし、課題は小論文や発表資料作成等を課す。 ・課題は、期限に遅れず提出すること。 <p>なお、この科目は学修単位科目であり、授業時間30時間に加えて、自学自習時間60時間が必要である。事前・事後学習として課題等を与える。</p> |
| 注意点 | <p><成績評価>・小論文(45%)・発表資料(30%)・口頭発表(20%)・メール(5%)の合計100点満点で(A-1)を評価し、合計の6割以上を獲得した者を合格とする。 <オフィスアワー>放課後 16:00～17:00、一般科棟3階。 <先修科目・後修科目>先修科目は国語Ⅲ</p> |

授業計画

| | 週 | 授業内容 | 週ごとの到達目標 |
|------|-----|----------------|---|
| 後期 | 1週 | ガイダンス | 本科目の目的や概要などについて理解できる。 |
| | 2週 | 文の書き方 | 主語述語を対応させた文章を書くことができる。 |
| | 3週 | 文の接続の仕方・表記 | 接続詞の働きを知り、使うことができる。表記を統一させることができる。 |
| | 4週 | パラグラフライティング①解説 | パラグラフライティングの概要を理解できる。 |
| | 5週 | パラグラフライティング②実習 | パラグラフライティングによって、短い文章を書くことができる。 |
| | 6週 | パラグラフライティング③実習 | 前週に書いた文章をよりよく書き直すことができる。 |
| | 7週 | 小論文①解説 | 小論文の概要を理解することができる。 |
| | 8週 | 小論文②実習 | 論理的な小論文を書くことができる。 |
| 4thQ | 9週 | 小論文③実習 | 前週に書いた小論文をよりよく書き直すことができる。 |
| | 10週 | 発表資料①解説 | 発表資料作成の手順を理解することができる。 |
| | 11週 | 発表資料②作成 | 効果的な発表資料を作成することができる。 |
| | 12週 | 発表資料③作成 | 優れた資料を参考にし、より効果的な発表資料を作成することができる。 |
| | 13週 | 口頭発表①実習 | <ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすく、的確な口頭発表をすることができる ・発表を聞き、意見や質問ができる。 |
| | 14週 | 口頭発表②実習 | <ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすく、的確な口頭発表をすることができる ・発表を聞き、意見や質問ができる。 |
| | 15週 | メールの書き方 | ・体裁の整ったメールを書くことができる |
| | 16週 | | |

評価割合

| | 試験 | 小論文 | 発表資料 | 口頭発表 | メール | 合計 |
|--------|----|-----|------|------|-----|-----|
| 総合評価割合 | 0 | 45 | 30 | 20 | 5 | 100 |
| 配点 | 0 | 45 | 30 | 20 | 5 | 100 |